

取扱説明書

▲ 警告

製品を使用する前にこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから正しくご使用下さい。

この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管して下さい。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

お客様相談室  0120-509-849

ご愛用の皆様へ

このたびは、トラスコ中山油圧ジャッキをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂きませんと、製品の能力を十分に発揮することができませんのでよく理解した上で、正しくご使用下さい。

お買上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社迄お問い合わせ下さい。

▲ 警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用下さい。

危険・・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告・・・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

注意・・・取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみ発生が想定される場合。

⚠ 危険・警告事項

危険・警告事項を怠りますと、重量物の落下や人身事故につながる恐れがありますので、必ずよく理解した上で正しくご使用下さい。

⚠ 危険	
	ジャッキアップ状態で重量物（車等）の下での作業は厳禁 * 死亡または重傷の危険性があります。
⚠ 警告	
	取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること * 重要な警告事項が説明されています。 警告事項に従ってください。重大な事故につながります。
	傾斜地や軟弱な場所での使用禁止 * 傾斜地や軟弱な場所で使用すると、ジャッキが傾き、受金部がすべり、重量物の落下による重大な被害が発生します。

⚠ 使用上の注意

1. 使用前にはその都度ジャッキを点検して下さい。損傷したジャッキや改造ジャッキ、調子の悪いジャッキは使わないで下さい。
2. このジャッキの呼び荷重を超えた荷重では使用しないで下さい。
3. ジャッキは平坦で堅い場所に置いてご使用下さい。
4. ハンドルの上下操作によりラムが伸び始めたら、重量物の荷重がジャッキ受金部の中心に垂直にかかる様にして下さい。
5. 重量物は必要以上高く上げないで下さい。
6. ジャッキを上げたまま重量物を保持する場合は安全上、安定性の良い適切な保持台で支えて下さい。
7. ジャッキだけで支えている重量物の下には絶対に入らないで下さい。
8. 保持している重量物には力を加えないで下さい。
9. ハンドルを使用しない時はジャッキ本体から抜いて下さい。また仕様で決められたハンドル以外は絶対に使用しないで下さい。
10. ジャッキのラムを下げる場合は1～2度上昇方向にポンプ操作を行なった後、リリースシステム（圧抜弁）を1～2回転反時計回りにゆっくり回して下げて下さい。
11. ジャッキ使用後、ジャッキのラムは最縮長状態にして下さい。伸ばした状態ではラムにキズをつけることがあります。
12. ジャッキは外気温-20℃～+70℃の範囲でご使用下さい。

▲ 自動車用として使用する場合の注意

1. 車輛に付属されている取扱説明書をよく読んでジャッキをご使用下さい。
2. 車の車種および重量に適したジャッキをご使用下さい。
3. 駐車ブレーキをかけて下さい。
4. オートマチック車の場合は、「P」に、マニュアル車の場合は、「ロー」または、「バック」にギヤを入れて下さい。
5. 交換するタイヤの反対側の前後車輪に車止めをかけて下さい。
6. ジャッキアップの際、車の決められた位置にジャッキの受金部の中心が垂直に当たるようにして下さい。
7. ジャッキアップは必要以上高くしないで下さい。
8. ジャッキ使用中は絶対に車の下に入らないで下さい。車の下に入る場合は必ずリジッドラック等の保持台で車を保持して下さい。
9. ジャッキ使用中は車には力を加えないで下さい。

◆ 取扱い方法

● ジャッキを上げる時

1. リリーズシステムにハンドル先端(U切欠き部)を差込み、時計回りに回して確実にバルブを閉じて下さい。(バルブを締め過ぎると故障の原因となりますので締め過ぎないように注意して下さい)
2. ハンドル接手にハンドルを差込み、ポンプを上下方向に作動させて下さい。

● ジャッキを下げる時

▲ 注意

リリーズシステムはゆっくり回して下さい。早く回すと重量物は急激に下降しジャッキポイントが外れたり、またジャッキが破損する場合があります、重大な事故につながります。

1. リリーズシステムにハンドル先端(U切欠き部)を差込み、反時計回りにゆっくり回してバルブを開けて下さい。(2回転以上は回さないで下さい)
2. 荷重が加わっていない時は、ラムは自重で降下しませんので、手で押すか、あるいは適当な荷重を加えて下げて下さい。

3. 作業が終了したらジャッキに付着したゴミ、オイル等をきれいにふき取って下さい。ジャッキはラム、補助ネジを最低まで降ろして所定の場所へ保管して下さい。

▲ 注意

ラベルが汚れて見えなくなったり、ジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社に相談して下さい。

●給油する時

1. ラムを最低まで押し下げてください。
2. 空気抜栓を指で外し、指定のジャッキオイルまたは一般油圧作動油（ISO VG 10～32）をジャッキを立てた状態で給油口まで入れて下さい。
3. 給油が終わったら空気抜栓を取りつけ、ポンプを作動させ、ラムを最高まで伸ばし、更に5～6回ポンプ作動を繰り返して下さい。その後、ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押し空気抜いて下さい。（空気抜き作業）

▲ 注意

給油の際、ゴミ等が混入しない様注意して下さい。なお、ブレーキオイルまたは植物性オイルは絶対に使用しないで下さい。作動不良の原因となります。

◆製品保証事項

品名

油圧ジャッキ

このたびは、トラスコ中山油圧ジャッキをお買上げ頂きまして誠に有難うございます。

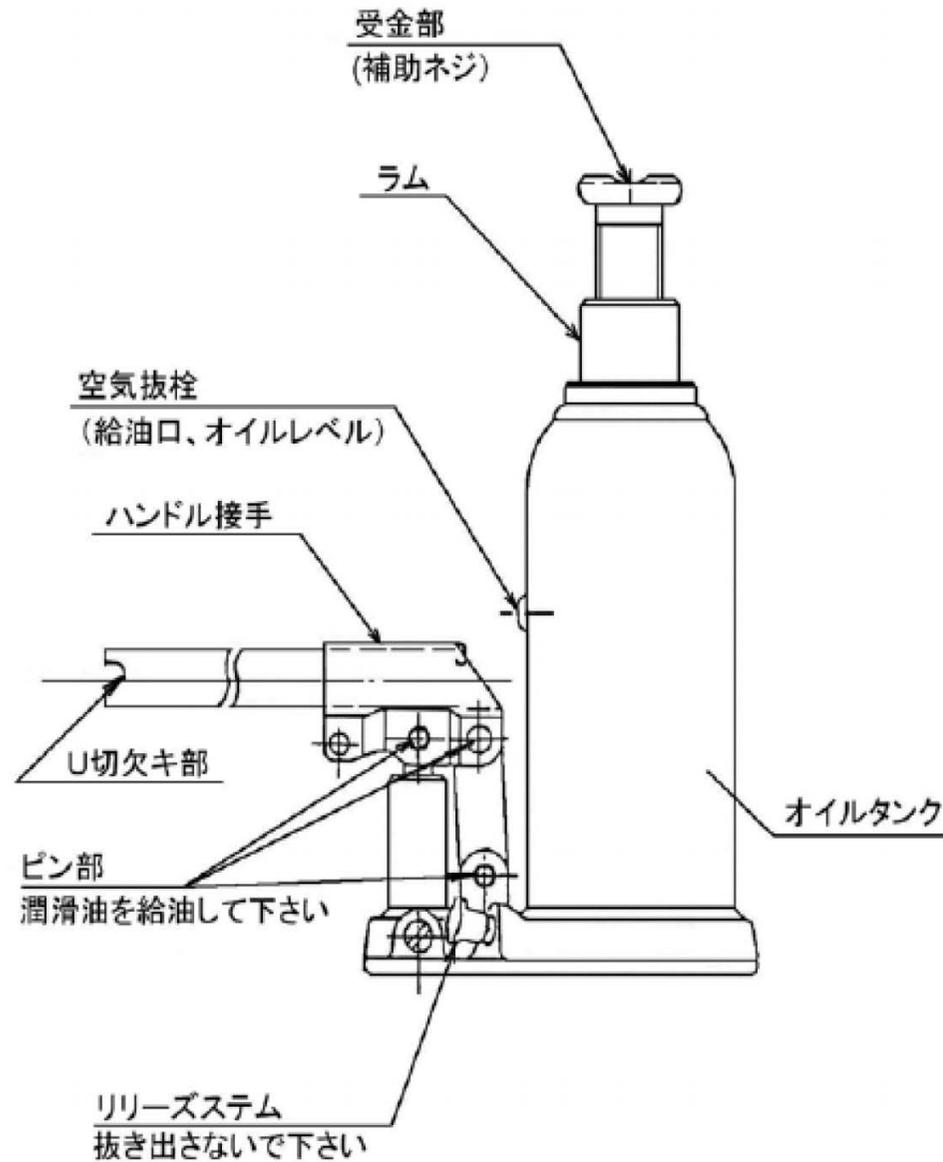
本製品に対しては下記の範囲において保証サービス致します。

1. 保証期間は、お買上げ後1年以内と致します。
2. 保証期間内において正常のご使用にもかかわらず生じた製造上の責に帰する故障は無償で修理致します。
3. 保証期間中であっても下記条件に該当する場合は修理に要した費用の実費を申し受けます。
 - イ. 弊社、および特約店以外において修理加工を行なった場合。
 - ロ. 製品に改造等を加えこれが原因となった場合。
 - ハ. 不慮の事故、濫用、誤用が原因となった場合。
4. 本製品の保証は日本国内で使用される場合に限りです。

This warranty is valid only in Japan.

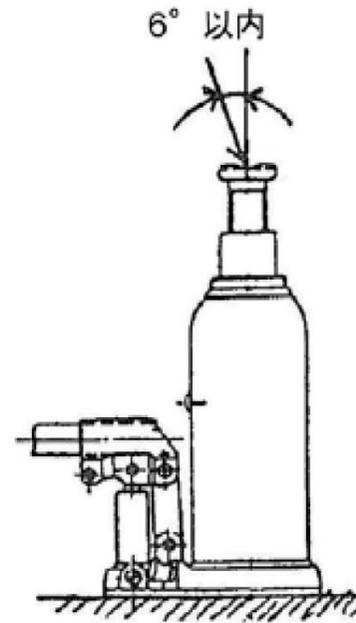
このジャッキはJISまたは社内検査規格に合格しています。

◆説明図〔1〕

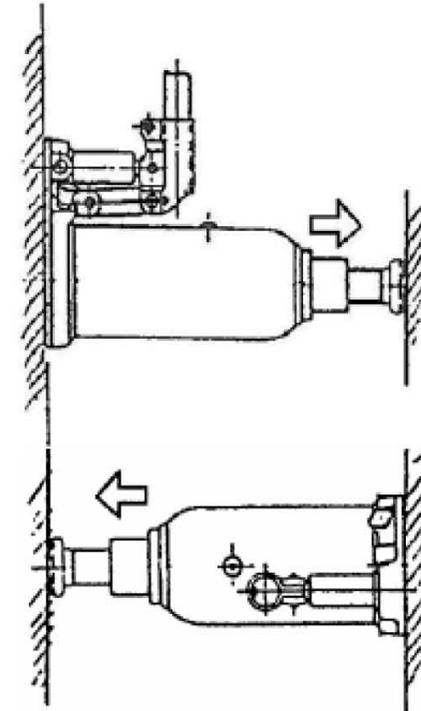


◆説明図〔2〕

正規使用の場合
傾斜荷重は 6° 以内です。



横使用の場合
揚程は約50%になります。



◆トラスコ中山ジャッキには下表の製品が御座います。用途に合わせてご愛用願います。

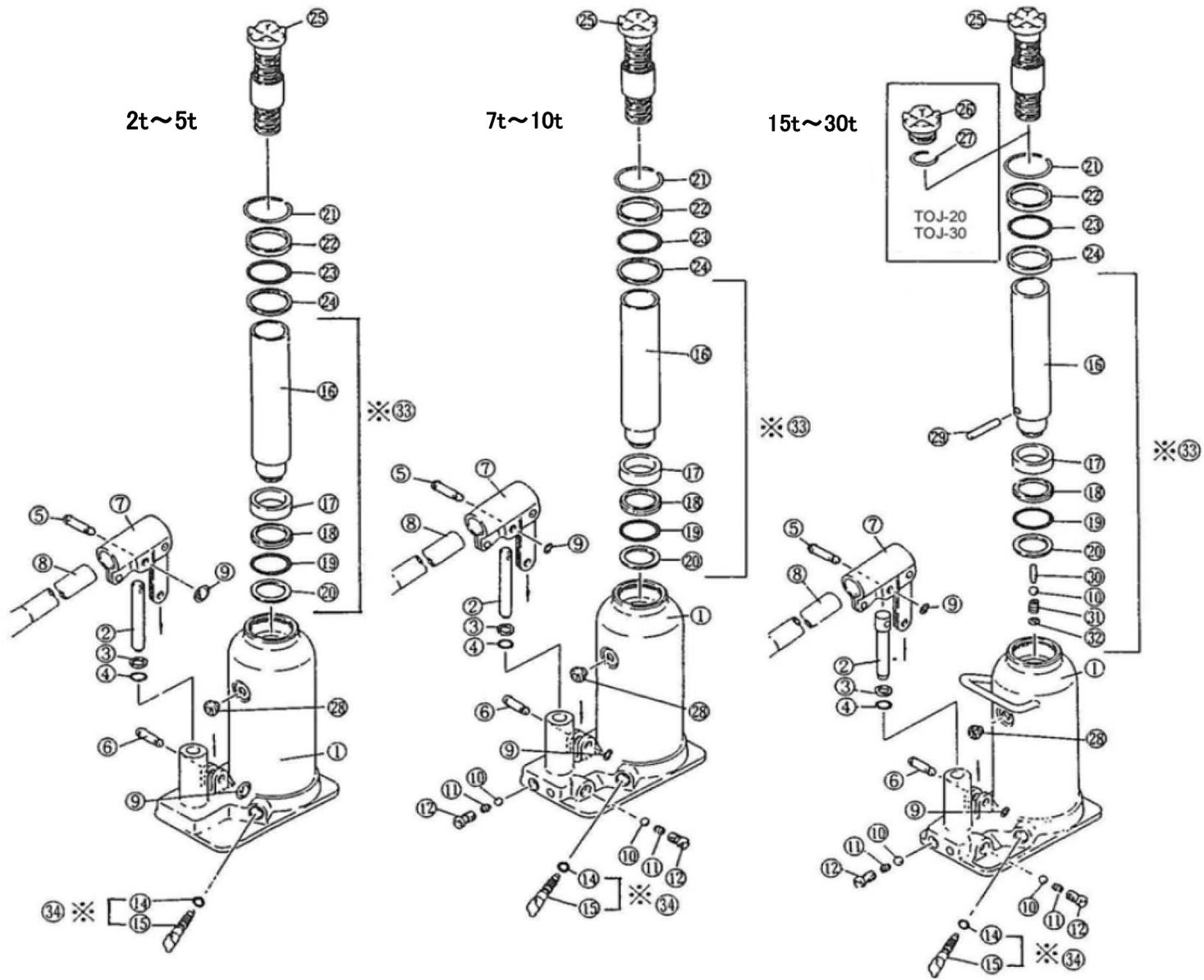
《仕様表》

型 式	呼び荷重 (TON)	最低高さ (mm)	油圧揚程 (mm)	ネジ伸長 (mm)	最高高さ (mm)	受金寸法 (mm)	ペット寸法 (mm)	ハンドル寸法 (mm)	操作力 (kgf)	操作回数 (回)	本体質量 (kg)	油量 (cc)
TOJ-2	2	180	115	50	345	φ25	65×110	φ19.1×330	39	30	2.2	72
TOJ-3	3	190	115	60	365	φ29.5	72×115	φ19.1×380	30	39	2.6	89
TOJ-4	4	190	115	70	375	φ34	76×131	φ21.7×545	27	61	3.4	140
TOJ-5	5	200	120	70	390	φ34	76×131	φ19.1×552	28	75	3.5	170
TOJ-7	7	200	120	70	390	38×40	90×151	φ21.7×605	30	86	4.7	212
TOJ-10	10	240	150	80	470	45×47	106×166	φ21.7×605	31	127	7.2	363
TOJ-15	15	265	165	80	510	51×53	118×180	φ21.7×605	31	208	9.9	552
TOJ-20	20	270	160	—	430	φ52	128×182	φ27.2×800	36	127	11.9	487
TOJ-30	30	280	160	—	440	φ61	142×192	φ27.2×800	36	185	17.5	670

※ 本体質量にはハンドル質量は含まれません。

◆構成部品表 (※印の部品はセットで供給致します)

符号	部品名称
1	ボディ Assy
2	ポンプランジヤ
3	ポンプバックアップリング
4	ポンプO-リング
5	ポンプランジヤピン
6	ポンプステイブ
7	ハンドル接手
8	ハンドル
9	ピン止メリング ／フツシユナツト
10	バルブホール
11	バルブスプリング
12	バルブブラク
13	_____
14	リリースパッキン
15	リリースステム
16	ラム
17	ラムパッキンシート
18	ラムバックアップリング
19	ラムパッキン
20	ラムパッキン押エ
21	スナップリング
22	スタフィンリング
23	シリンダーO-リング
24	ストップリング
25	補助襯 Assy
26	支板
27	支板止メリング
28	空気抜栓
29	横ピン
30	縦ピン
31	ラムスプリング
32	ラムスプリング押エ
33	ラム Assy
34	リリースステム Assy



◆故障と処置

主な故障	原因	処置	備考
ラムが上昇しない	リリースシステムが開いている	リリースシステムを時計回りに回し確実に閉じる	取扱方法参照
	バルブシール部にゴミまたはキズ付き	メーカーに修理をご用命下さい	
最伸長まで上昇しない	作動油の不足または入れ過ぎ	適正油量を給油して下さい	取扱方法参照
ラムが下降する	バルブシール部にゴミまたはキズ付き	メーカーに修理をご用命下さい	
ラムが自然に上昇する	空気の吸い込み	ラムを最低まで下げ、空気抜栓を横に押し、空気を抜いて下さい	取扱方法参照
ハンドルがはね上がる	吐出バルブシール不良	メーカーに修理をご用命下さい	
外部に油が漏れる	オイルタンク上下部、リリースシステムまたはポンプ部のシール不良	メーカーに修理をご用命下さい	